

第1学年〇組 道徳学習指導案

指導者 〇〇 〇〇

- 1 主題名 友達を大切に 低学年2-(3) 信頼・友情
資料名 「二わのことり」 (文溪堂)

2 主題設定の理由

- 本学級の児童は、学校生活にも慣れ、友達関係においては、以前幼稚園や保育園が同じであった、席が近かったといった程度の関係から、自分と気が合う、あるいはその友達のもつ優しさに惹かれて仲良くなるなど心と心のつながりをもった関係へと少しずつ変化してきている。しかし、お互いに反発し合い、些細なことで口論になることも多く、安定した友情関係を保ちにくく自己中心的な面もある。

そこで、学級内の友達関係が深まってきているこの時期に、友達を思いやり、仲良く助け合おうとする心情を育てることは意義深いと考える。

- 本主題は、友達と仲よくし、助け合おうとする心情を育てることを主な内容としている。

わたしたち人間は、人と人との関わりの中で生きている。よりよい人間関係を築いていくことは、社会生活を営む上でとても大切なことであり、心豊かな生活の基盤となる。児童にとって一番身近で、多くの時間を共に過ごす友達とよりよい関係を築いていくことは、その第一歩であり、互いに思いやりたり助け合ったりすることを通して、互いを認め合い、信頼し合うようになり友情を深めていく。そこで友達を思いやり、仲良く助け合うことの大切さに気付かせたり、相手が喜ぶ姿を見て共に喜ぶ心情を育てることは、大変意義深いと考える。

- 本資料は、うぐいすとやまがらの両方から家に招待され、初めは明るいうぐいすの家に行ってしまったみそさざいが、一人で待っているやまがらを思い、遠くて暗いやまがらの家へ訪ねていくという話であり、期待を裏切られたやまがらの悲しみやみそさざいの友情に喜ぶやまがらの心情に十分共感させることで、友達の気持ちをくみとることの大切さに気付くことのできる資料である。

本時指導にあたっては、やまがらのことを思いやり、たったひとりで遠くて暗いやまがらの家へと向かうみそさざいの気持ちに十分共感させながら、ねらいとする価値に迫っていきたい。導入では、誕生日について想起させてから、スムーズに資料の世界に浸れるように、登場人物を紹介しながら小鳥のさえずりのBGMを流し、児童全員にお面をつけさせてみそさざいになりきらせるようにする。展開1では、資料の内容をとらえやすいように、紙芝居を使う。紙芝居を全部読み終わっ後、本来ならば歌の練習が楽しいはずであることをとらえさせるために、全員で「こたりのうた」を歌う。その後、「楽しくありません。」という言葉を確認し、楽しみに待っているやまがらのペープサートを見せたり、みそさざいのペープサートを左右に動かしたりして、葛藤するみそさざいの気持ちをとらえさせるようにする。次に、たったひとりで遠くて暗いやまがらの家へと向かうみそさざいの気持ちに十分共感できるように、教室を暗くしてから黒板右端のうぐいすの家から教室左端のやまがらの家まで教師がゆっくり静かにペープサートを動かし、児童はペープサートの動きといっしょに羽ばたかせるようにする。また、途中で、やまがらの表情について問いかけをして、やまがらの表情を悲しい顔に変える。そして、やまがらの家に着いた場面でのみそさざいに十分共感できるように、児童の半分がやまがらに、残りの半分がみそさざいになって動作化させる。展開2では、友達に優しくできたことについて自分を振り返らせ、価値を自覚できるようにする。終末では、教師の説話を通して、価値に対する意識の継続を図る。

3 本時のねらい

友達には、思いやりの心をもって接し、仲良く助け合っていこうとする気持ちを育てる。

- 4 本時 平成21年11月25日(水) 第5校時 第1学年〇組教室において

- 5 準備 CD (小鳥のさえずり、こたりのうた伴奏)、紙芝居、大きな木の絵 (2本)、みそさざいとやまがらのペープサート、みそさざいのお面、日常生活のイラスト、道徳ノート

6 展開

段階	学 習 活 動	教 師 の 支 援
導 入	<p>1 本時学習のめあてをつかむ。</p> <p>めあて</p> <p>ともだちをたいせつにするところについてかんがえよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 誕生日について想起させ、自分にとって特別の日であることをとらえさせる。 ○ スムーズに資料の世界に浸れるように、登場人物を紹介した後、小鳥のさえずりの BGM を流し、全員にみそさざいのお面をつけさせる。
展 開 1	<p>2 資料「二わのことり」を読み、みそさざいの気持ちを話し合う。</p> <p>(1) 教師の範読を聞く。</p> <p>(2) うぐいすの家での、みそさざいの気持ちについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ どっちにしようかな。 ○ やまがらさん、どうしているかな。 ○ やまがらさんの家へ行こうかな。 ○ やまがらさんの家へ早く行こう。 <p>(3) やまがらの家へ飛んでいくときのみそさざいの気持ちについて話し合う。</p> <p>やまがらの家に飛んでいきながら、みそさざいはどんなことをつぶやいているでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ こわいな、つかれたな。 ○ ずっとまっているだろうな。 ○ やまがらさん、泣いてないかな。 ○ 早く行って喜ばせたい。 <p>(4) 喜んでいるやまがらを見たときのみそさざいの気持ちについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ おそくなってごめんね。 ○ こんなによろこんでくれて、うれしい。 ○ 遠いし怖かったけどきてよかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料の内容を分かりやすくとらえられるよう、紙芝居を使って範読する。 ○ 本当は楽しいはずであることをとらえるために「ことりのうた」を全員で歌う。 ○ 「楽しくありません。」という言葉を確認し、葛藤するみそさざいの気持ちをとらえられるように、みんなが来るのを楽しみに待っているやまがらの様子をペープサートで表したり、みそさざいのペープサートを左右に動かしたりする。 ○ 臨場感が出るように教室を暗くして、ペープサートを静かにゆっくり動かす。 ○ みそさざいの気持ちに迫ることができるように、ペープサートの動きに合わせて羽ばたく動作をさせる。 ○ やまがらの表情について問いかけをして、やまがらの表情を悲しい顔に変える。 ○ 価値に迫らせるために意図的指名を行う。 ○ みそさざいの気持ちに共感できるよう児童の半分がみそさざいに、もう半分がやまがらになって動作化し、その後続く言葉を考えさせるようにする。
展 開 2	<p>3 自分の生活を振り返り、友達が悲しんでいたり困ったりしているときに優しくできたことについて発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「いっしょに遊ぼう。」と言った。 ○ 「大丈夫。」と声をかけた。 ○ 困っていたから手伝った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の生活を振り返りやすいように、生活場面のイラストを提示する。 ○ 子どもたちの優しくできた心についてひとつひとつ褒めるようにする。
終 末	<p>4 教師の話を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教師が、友達に喜んでもらって嬉しかった体験について語り、友達に優しくしようとする意識の継続を図る。


7 板書計画

めあて

ともだちを たいせつにする こころについて かんがえよう。

二羽の とり

みそささい やまがら



うぐすのぐえにぐるむときのきもち

おたんじょうびに きてください。

やまがら

やまがらのいえへとんでいっているときのきもち

- ・どっちにしようかな。
- ・やまがらさん、どうしているかな。
- ・やまがらさんの家にいこうかな。
- ・やまがらさんの家へ早く行こう。

よるこんでいるやまがらをみたときのきもち

たんじょうび

よるこんでいるやまがらをみたときのきもち

- ・こわいな、つかれたな。
- ・ずっとまっているだろうな。
- ・やまがらさん、泣いてないかな。
- ・早く行って喜ばせたい。

おたんじょうび、おめでとう。

ありがとう。

おたんじょうび、おめでとう。

おたんじょうび、おめでとう。

おそくなつてごめんね。

・こんなによろこんでくれてうれしい。

・遠いし怖かったけどきてよかった。

さびしい

とおい


あかるい

ちかい

じぶんを ふりかえって

ともだちに やさしくできたこと

学校生活の イラスト



8 道徳ノート

めあて


ともだちを たいせつにするこころについて かんがえよう。

二羽の とり

なまえ ()

「やまがらのいえへとんでいっているときのきもち。」

「よるこんでいるやまがらをみたときのきもち。」



大きなお話しがきけるよ。